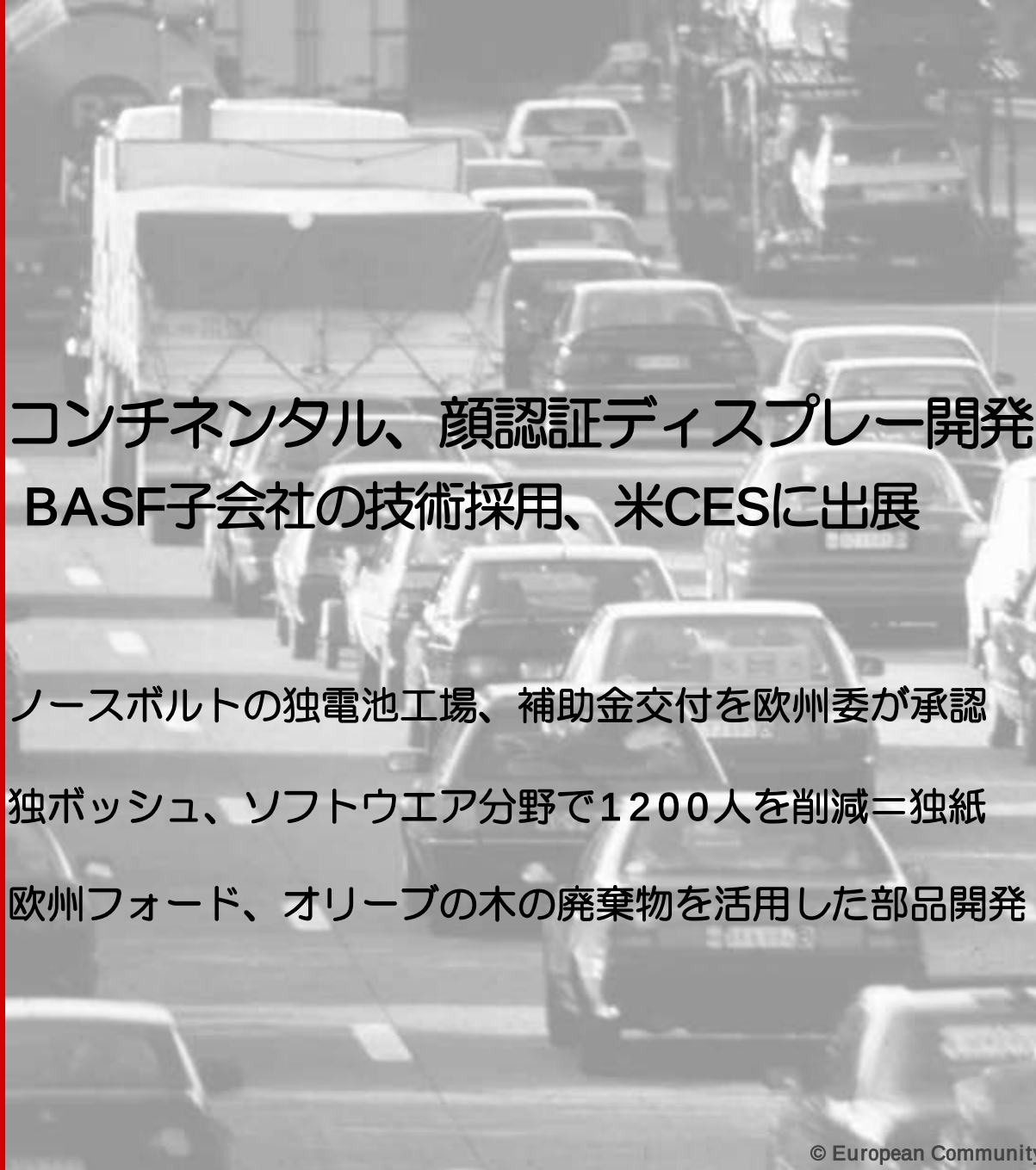


欧州自動車産業ニュース

No. 915

2024年1月19日号



コンチネンタル、顔認証ディスプレイ開発 BASF子会社の技術採用、米CESに出展

ノースボルトの独電池工場、補助金交付を欧州委が承認

独ボッシュ、ソフトウェア分野で1200人を削減＝独紙

欧州フォード、オリーブの木の廃棄物を活用した部品開発

© European Community

＊ PDFファイルでご覧の方は左のパレットの「しおり」を開き、見たいタイトルを選択して下さい。

■注意■

- 1.本誌の使用は、お申込み登録いただいた住所の事業所内及びE-Mailアドレスに限り、他への配布・回覧・転送を固く禁じます。
- 2.本誌のご利用によって生じたトラブル・損失・損害に関し、当社は一切の責任を負いません。

FBC Business Consulting GmbH August-Schanz-Str.8, 60433 Frankfurt/M. (Germany)
Tel : 069-5480950, Fax : 069-54809525, E-mail : fbc@fbc.de, <http://www.fbc.de>

Rechtsform: GmbH Sitz: Frankfurt am Main HRB 44664 Geschäftsführer: Susumu Fujita

総合

ノースボルトの独電池工場、補助金交付を欧州委が承認	4
EU新車販売、12月は3.3%減・2023年通期は13.9%増加	4

企業情報

自動車メーカー

セアトの23年販売は51.9万台、史上2番目の多さ	7
---------------------------------	---

部品メーカー

独ボッシュ、ソフトウェア分野で1200人を削減＝独紙	8
独エーオン、試験・イノベーションセンター開設	8
仏ヴァレオの熱回収装置、イスラエルのサーバー冷却スタートアップに供給	9
ヒアのHDライブマップ、保険会社による自動運転車のリスク指標作成に活用	9
タタ製鉄とH&Tリチャージ、円筒形車載電池の外装缶開発で協力	10
独ヘラーとテュフ・ラインラント、自動運転分野で協力	10

クローズアップ

Vay	11
-----------	----

欧州自動車短信

エーベルスペツヒャー、シクスト、ZFフリードリヒスハーフェン	12
--------------------------------------	----

一般・その他

EUのミシェル大統領が任期途中で辞任、欧州議会選に出馬へ.....	13
マイクロソフトとオープンAIの提携、欧州委が調査.....	14
EUによるグーグルへの巨額制裁、EU司法裁の法務官が支持.....	14

テクノロジー・トレンド

独コンチネンタル、顔認証ディスプレイを出展＝米CES	15
ベバストとLGディスプレイ、スクリーン統合型ルーフシステムを出展＝米CES	16
欧州フォード、オリーブの木の廃棄物を活用した自動車部品を開発.....	16

目で見える欧州自動車産業ニュース

EU 新車登録:2023年 燃料別.....	17～18
------------------------	-------

企業名索引.....18

欧州経済を伝える



FBCでは、読者の皆様と一緒に誌面作りに取組みたいと考えております。
お気づきの点や率直なご意見・ご感想など、弊社カスタマーサポートまで
ぜひお気軽にお寄せください。

< FBCカスタマーサポート >

Tel : +49-(0)69-5480950 Email: info@fbc.de

FBC Business Consulting GmbH
August-Schanz-Str.8, 60433 Frankfurt/M/Germany

<http://www.fbc.de>

総合

ノースボルトの独電池工場、補助金交付を欧州委が承認

欧州連合（EU）の欧州委員会は8日、スウェーデンのスタートアップ企業ノースボルトがドイツ北部のシュレスヴィヒ・ホルシュタイン（SH）州ハイデに車載リチウムイオン電池セルの巨大工場（ギガファクトリー）を設置するプロジェクトに対するドイツの公的支援を承認したと発表した。

ノースボルトは2022年3月、ハイデ工場の建設計画を発表した。年産能力は電気自動車（BEV）約100万台分に相当する60ギガワット時（GWh）で、投資額は45億ユーロ。26年の生産開始を予定している。

公的支援は総額9億200万ユーロで、内訳は補助金が7億ユーロ、公的保証が2億ユーロ。補助金は国が約5億6,400ユーロ、地元SH州が1億3,700ユーロを拠出する。

ノースボルトは米国のインフレ抑制法（IRA）成立を受け、米国での工場建設を優先し、ハイデ工場建設を先送りする可能性を22年秋に明らかにした。これに危機感を持ったドイツ政府とSH州政府は同社と集中協議を開始。補助金の上乗せを確約したことから、ハイデ工場の建設を計画通りに進めることにした経緯がある。

欧州委は声明で、「（ドイツの）この助成がなければノースボルトは工場を米国に建設していた」との見方を示した。ベステアー上級副委員長（競争・デジタル政策担当）によると、欧州域外への投資流出を防いだ助成措置は今回が初めてという。

<AI21640>

EU 新車販売、12月は3.3%減・2023年通期は13.9%増加

欧州自動車工業会（ACEA）は18日、欧州連合（EU）の2023年12月の乗用車新車販売（新車登録）が86万7,052台となり、前年同月に比べ3.3%減少したと発表した。前月まで16カ月連続で増加していたが、減少に転じた。減少の背景には、2022年12月は新車登録が高水準だった影響もある。主要国では、フランス（14.5%増）とスペイン（10.6%増）で2ケタの増加率だった一方、ドイツ（23.0%減）で大幅に減少した。

2023年通期の累計は、前年比13.9%増の1,054万7,716台だった。EU加盟国は、ハンガリー（3.4%減）を除き、すべての国で前年同月を上回った。主要国のイタリア（18.9%増）、スペイン（16.7%増）、フランス（16.1%増）など、2ケタの増加率の国も多かった。ドイツは、12月の大幅な減少が響き、2023年通期は7.3%増と比較的小幅な増加率にとどまった。

■ EU 31カ国、12月は3.8%減・2023年通期は13.7%増加

EU27カ国にアイスランド、ノルウェー、スイスおよび英国を加えた欧州31カ国の12月の新車登録は、前年同月比3.8%減の104万8,727台だった。2023年通期の累計は、前年比13.7%増の1,284万7,481台だった。

（5～6頁の表参照、
燃料別のグラフは【目で見る欧州自動車産業ニュース】17～18頁に掲載）

新車登録：国別動向

国	2023年	前年同月比 (%)	2023年	前年同期比 (%)
	12月		1～12月	
オーストリア	18,497	5.1	239,150	11.2
ベルギー	25,715	4.6	476,675	30.1
ブルガリア	3,123	55.5	37,724	31.5
クロアチア	3,453	36.6	57,694	31.3
キプロス	743	-4.3	14,740	26.8
チェコ	15,125	3.9	221,419	15.3
デンマーク	19,187	26.1	172,798	16.5
エストニア	1,813	58.3	22,820	11.7
フィンランド	5,800	-6.3	87,502	7.1
フランス	181,005	14.5	1,774,723	16.1
ドイツ	241,883	-23.0	2,844,609	7.3
ギリシャ	8,240	27.0	134,484	27.7
ハンガリー	7,986	-0.2	107,720	-3.4
アイルランド	345	65.1	122,310	16.0
イタリア	111,111	5.9	1,565,331	18.9
ラトビア	1,408	19.0	19,083	13.4
リトアニア	1,757	21.6	27,528	8.0
ルクセンブルク	3,348	7.3	49,151	16.8
マルタ	470	8.5	7,200	12.3
オランダ	26,577	-13.8	369,791	18.5
ポーランド	42,117	14.2	475,032	13.2
ポルトガル	16,635	11.1	199,623	26.9
ルーマニア	11,373	-8.6	144,611	11.8
スロバキア	5,328	-17.4	88,003	11.6
スロベニア	2,805	11.1	48,809	5.3
スペイン	81,772	10.6	949,359	16.7
スウェーデン	29,436	-17.0	289,827	0.6
EU合計	867,052	-3.3	10,547,716	13.9
アイスランド	1,452	0.1	17,541	5.2
ノルウェー	12,183	-69.2	126,955	-27.2
スイス	26,948	8.9	252,215	11.6
EFTA	40,583	-38.2	396,711	-4.8
英国	141,092	9.8	1,903,054	17.9
EU+EFTA+UK	1,048,727	-3.8	12,847,481	13.7

出所：各国自工会；ACEA

新車登録：メーカー別動向（EU）

	12月				1～12月			
	シェア(%) ⁽¹⁾		台数	変動率	シェア(%) ⁽¹⁾		台数	変動率
	2023年	2022年			2023年	2022年		
VW グループ	26.1	25.0	226,397	+1.1	26.1	25.2	2,753,053	+18.0
フォルクスワーゲン	11.4	11.3	99,123	-2.0	10.9	11.1	1,149,741	+11.8
シュコダ	5.3	4.4	45,948	+16.5	5.5	5.0	580,729	+25.8
アウディ	5.1	5.4	44,225	-8.1	5.4	5.1	570,455	+19.8
セアト	1.9	1.5	16,235	+22.6	2.0	1.9	209,675	+18.6
クブラ	1.9	1.6	16,195	+12.5	1.6	1.3	166,515	+37.4
ボルシェ	0.5	0.8	4,302	-39.9	0.7	0.7	69,690	+11.6
その他(2)	0.0	0.0	369	+1.8	0.1	0.1	6,249	+6.7
ステランティス	14.0	16.7	121,150	-19.2	17.8	19.7	1,880,083	+2.9
プジョー	4.0	4.8	35,115	-18.4	5.4	6.0	569,509	+2.2
フィアット(アバルトを含む)	2.8	3.3	24,258	-19.1	3.4	4.0	358,867	-2.7
オペル/ボクスホール	2.8	3.3	24,292	-17.9	3.3	3.7	351,848	+3.9
シトロエン	2.2	2.7	19,378	-18.9	3.2	3.7	334,571	-2.0
ジープ	1.0	1.3	8,758	-22.8	1.1	1.1	120,734	+22.6
アルファロメオ	0.4	0.4	3,242	-14.7	0.4	0.3	46,997	+56.3
DS	0.3	0.5	2,652	-45.7	0.4	0.5	45,246	-0.7
ランチア/クライスラー	0.3	0.3	3,013	+16.2	0.4	0.4	44,802	+9.1
その他 ⁽³⁾	0.1	0.1	442	-45.5	0.1	0.1	7,509	+22.4
ルノー・グループ	11.9	12.1	103,340	-4.5	10.9	10.6	1,152,230	+16.9
ルノー	7.1	6.8	61,566	+0.6	6.0	5.9	629,093	+16.1
ダチア	4.7	5.2	41,098	-11.8	4.9	4.8	519,547	+18.0
アルピース	0.1	0.0	676	+56.8	0.0	0.0	3,590	+25.0
現代グループ	7.6	6.9	66,138	+6.5	8.4	9.2	885,626	+4.2
起亜	3.5	3.2	29,938	+3.7	4.3	4.6	453,393	+5.5
現代	4.2	3.7	36,200	+8.9	4.1	4.5	432,233	+3.0
トヨタ・グループ	6.8	6.3	58,797	+3.4	6.9	7.2	728,727	+9.9
トヨタ	6.3	6.0	54,882	+2.0	6.5	6.9	686,705	+8.0
レクサス	0.5	0.3	3,915	+27.9	0.4	0.3	42,022	+56.7
BMWグループ	8.3	7.2	71,588	+10.3	6.9	6.8	722,767	+15.5
BMW	6.8	5.8	59,022	+13.0	5.6	5.4	589,682	+16.8
ミニ	1.4	1.4	12,566	-1.0	1.3	1.3	133,086	+9.7
メルセデスベンツ	6.9	6.9	59,813	-4.0	5.7	5.9	597,525	+8.8
メルセデス	6.6	6.6	56,884	-4.6	5.4	5.7	570,591	+7.8
スマート	0.3	0.3	2,929	+8.8	0.3	0.2	26,934	+35.4
フォード	2.9	3.6	25,379	-21.3	3.4	4.1	362,805	-4.6
テスラ	3.5	3.6	30,055	-6.9	2.6	1.6	279,042	+89.2
ボルボ	2.8	2.8	24,256	-4.7	2.1	2.1	219,712	+14.7
日産	1.9	1.6	16,672	+13.2	1.9	1.7	195,569	+25.8
スズキ	1.5	1.2	12,785	+22.4	1.5	1.2	154,948	+43.5
マツダ	1.4	1.3	12,188	+4.7	1.4	1.2	145,567	+34.4
ジャガー・ランドローバー	0.6	0.5	5,220	+10.0	0.7	0.6	69,241	+18.3
ランドローバー	0.5	0.4	4,568	+17.9	0.6	0.5	58,987	+26.7
ジャガー	0.1	0.1	652	-25.0	0.1	0.1	10,254	-14.4
三菱自	0.4	0.8	3,887	-47.2	0.4	0.6	40,532	-25.3
ホンダ	0.3	0.3	2,889	+13.6	0.3	0.4	32,912	-17.7

(1)ACEA推定値

(2) VWグループ：その他にはベントレー、ランボルギーニが含まれる。

(3)ステランティス：その他にはダッジ、マセラティ、RAMが含まれる。

出所：各国自工会；ACEA

<AI21641>

企業情報

■自動車メーカー■

セアトの23年販売は51.9万台、史上2番目の多さ

独フォルクスワーゲン（VW）傘下のスペイン自動車大手セアトは10日、2023年の販売台数が前年比34.6%増の51万9,200台となり、史上2番目に多い販売量だったと発表した。サプライチェーンの混乱から立ち直り生産量が増加した。特に高性能ブランド「クプラ」が好調で全体の販売を押し上げた。

販売台数をブランド別にみると、セアトは24%増の28万8,400台、クプラは過去最高となる50.9%増の23万700台に拡大した。

モデル別では、セアトでは最多のSUV「アローナ」が25.3%増の8万9,000台で、ハッチバック「イビサ」（51.5%増、7万7,700台）、SUV「アテカ」（35.5%増、6万6,800台）と続いた。クプラはクーペタイプのSUV「フォーメンター」が23%増の12万100台、完全電気自動車（BEV）のハッチバック「ボーン」は44.4%増の4万5,300台と好調を維持した。

国別では、主力市場のドイツが22.6%増の12万9,100台に伸び、スペイン（26%増、7万9,200台）、英国（58.1%増、5万7,800台）、フランス（53.9%増、3万3,100台）、イタリア（25.1%増、3万1,600台）も2ケタの成長を達成した。トルコでは133.3%増の2万800台と3ケタの伸びを記録した。

ブランド別で最も販売台数が多い国は、セアトがスペイン（21.2%増、5万9,700台）、クプラはドイツ（23.8%増、7万2,300台）だった。

クプラは今年後半に完全電動SUV「タバスキャン（Tavascan）」の発売を予定している。

<AI21642>

ドイツ語での 情報収集・検索でお困りではありませんか？

FBCの「インフォメーション・ブローカーサービス」は、クライアントが必要とする情報迅速に探し出す情報検索サービスです。私たちは長年の調査業務ノウハウを活用して広範囲な情報検索を提供しています。



プレスリリース



情報検索



問合せや訪問予約の
アレンジメント

検索料金は**250**ユーロ+VATから

お問い合わせ: FBCカスタマーサポート +49-(0)69-5480950 info@fbc.de

■部品メーカー■

独ボッシュ、ソフトウェア分野で 1200 人を削減＝独紙

独自動車部品大手のボッシュは、2026 年末までにソフトウェア分野の従業員約 1,200 人を削減する方針のもようだ。うち、ドイツで 950 人を削減する予定。ボッシュが 18 日、独経済紙『ハンデルスブラット』の取材に対し、事実関係を認めた。ボッシュの経営陣は今後、労働側の代表との交渉を開始する予定。

対象となるのは、社内で「クロス・ドメイン・コンピューティング・ソリューションズ」と呼ばれている部門で、従業員約 2 万人が勤務している。同部門では主に、自動運転車向けの技術を開発している。

大幅な人員削減は、自動運転技術の開発が予想よりも遅れているため。開発者だけでなく、同部門の管理、販売に携わる人員も削減対象となる。

自動車部門のドイツの拠点については昨年に、2027 年末まで経営上の理由による解雇は行わないことで労使合意している。このため、人員削減は、定年退職、早期退職、自然減、労働時間の短縮などを通して実施すると見られている。

<AI21643>

独エーオン、試験・イノベーションセンター開設

独電力手のエーオン (E.ON) は 11 日、独西部のエッセンに電動車の充電技術や持続可能なエネルギーソリューションなどの試験・イノベーションセンターを開設した。当該センターは、エーオンが電動車の充電ソリューションやエネルギーシステムとのインテリジェントな連携技術などを試験・開発するために使用するほか、自動車メーカーなどエーオンの顧客も利用することができる。商用車向けの充電技術を試験・研究することもできる。

同センターの面積は約 1 万平方メートルで、25 台以上の試験ステーションや、車両や充電設備、付属部品などを試験するためのデジタル設備がある。気候実験室も 5 つあり、摂氏マイナス 40 度からプラス 50 度までの温度環境における電動車の充電状況を試験することができる。これにより、自動車メーカーなどの顧客は実地試験の手間や費用を削減することができる。エーオンはこのほか同センターで、顧客や提携先に充電設備の設置や保守に関する研修も実施する。

当該センターでは、電気トラックやバス向けの出力が最大 3 メガワットの急速充電技術を試験することもできる。

<AI21644>

経済活動に大きく影響する
EU の政策動向をお伝えしています



欧州経済ウォッチャーを読んで
今の EU を知ろう

FBC

仏ヴァレオの熱回収装置、イスラエルのサーバー冷却スタートアップに供給

仏自動車部品大手のヴァレオは8日、データセンターのサーバーの冷却技術を手掛けるイスラエルのスタートアップ企業、ズータコア（ZutaCore）と、熱回収装置（HRU）の供給契約を結んだと発表した。増大するデータセンターの液体冷却需要を取り込むのが狙い。期間は4年で、今年下半期から納入を開始する。

ズータコアはサーバーの冷却に水を使わない「ダイレクトチップ液体冷却技術」で知られる。同技術はサーバー内のプロセッサ（半導体チップ）の冷却プレートに絶縁性の冷媒を二相式で循環させて冷却するもの。同技術を用いた独自のソリューション「HyperCool」にヴァレオのHRUを組み合わせることで、データセンターのコンピューティング能力が10倍高まるほか、100%の熱再利用、総所有コストの50%削減、および二酸化炭素（CO2）の排出削減が実現する。新規および既存のデータセンターにも実装が可能だ。

ヴァレオのHRUはコンパクト設計で、冷却能力は60キロワット（kW）。ポンプは稼働状態のまま取り外しや交換が可能（ホットスワップ）で、保守点検に伴うダウンタイムを最小限に抑えられる。

両社は昨年、米ラスベガスで開催された「CES 2023」で、液体冷却方式の研究と導入で提携することを明らかにしていた。

<AI21645>

ヒアのHDライブマップ、保険会社による自動運転車のリスク指標作成に活用

デジタル地図大手のヒア・テクノロジーズ（オランダ）は10日、独シーメンスの社内ベンチャーで自動運転車のリスク評価サービスを提供しているシミュリティック（Simulytic）に対し、クラウドベースの自動運転車向け地図「ヒアHDライブマップ」を提供していると発表した。これは保険会社が自動運転車の導入に伴う全リスク指標（リスクプロファイル）の作成を支援するものである。

自動運転技術を搭載した車の増加に伴い、保険会社には自動運転時の事故に関する適切な保険料を算出するためのリスクプロファイルが不足している。この課題に対応するため、シミュリティックは自動運転車の動作環境に関するデジタルツインを作成し、特定の条件下での車両の挙動や他の道路利用者との相互作用をシミュレートすることでプロファイル作成を支援している。

ヒアHDライブマップは道路と周辺地理に関する詳細な情報を提供し、シミュレーションの正確性を向上させる。これにより保険会社は、現在および将来の自動運転車展開に基づいたリスク指標を得ることができるようになる。

同マップは現在、レベル3の自動運転システムを搭載した市販車にも採用されている。

<AI21646>

— 競業企業の動向を定期的にウォッチします —

キーワードに沿って情報を「**クリッピング**」し

日本語に抄訳してご提供します

料金は月々1,000〜3,000ユーロから



タタ製鉄とH & Tリチャージ、円筒形車載電池の外装缶開発で協力

インド鉄鋼大手のタタ製鉄は10日、蘭子会社のタタ・スチール・オランダ（蘭タタ）と円筒形電池用の外装缶大手H & Tリチャージがリチウムイオン電池用の外装缶の共同開発に関する契約（JDA）を結んだと発表した。電動車用車載電池の最適化に向け、必要な材料と製缶技術の開発で協力する。

蘭タタの電池用金属被覆鋼材の事業部門タタ・スチール・プレーティングと、H & Tリチャージのドイツ研究開発（R & D）子会社であるH & Tリチャージャブル・ソリューションズが提携する。タタは材料、H & Tリチャージは製法に関する双方の強みを持ち寄る。欧州市場向けに持続可能性に優れた材料を開発し、電池性能の向上につながる外装材の製品化を目指す。

円筒形リチウムイオン電池は開発が急速に進んでおり、電池セルの構成と電池のサイズは日進月歩で進歩している。タタは円筒形電池缶の材料や部材の量産で高い実績を持つことから、H & Tリチャージは提携により開発サイクルを短縮できると期待する。

タタ・スチール・プレーティングは2030年までに被覆鋼材の生産能力を拡大することを計画している。

<AI21647>

独ヘラーとテュフ・ラインラント、自動運転分野で協力

独自動車部品大手のヘラーは8日、技術認証機関のテュフ・ラインラントと自動運転分野で協力すると発表した。自動運転車の交通規則順守に向けたソフトウェアモジュール「トラフィックルール・エンジン」の開発と製品化が目的。自動運転車が地域ごとの交通規則を正確に認識したうえで、規則を守って走行や動作できるようにする。

ヘラー子会社の視覚センサーシステム会社アグライア（Aglaia）が開発を、テュフ・ラインラントは同ソフトウェアの承認関連の要件と、自動運転車との照会を担当する。

開発はレベル3（米自動車技術会＝SAE）の自動運転車の公道走行を想定して行われる。このレベルの自動運転機能はドライバーが特定の状況下で運転操作から離れることを可能としているが、その場合は車を運転する責任がドライバーからメーカーに移行する。このため、高度に自動化された車が人間の介入なしに自律的に運転する際には、車両は道路規則を常に把握し、どのような状況でも制御できる必要がある。

両社が開発するソフトは車両の挙動を監視し、センサーと地図データに基づいて現在地の交通規則と照らし合わせる機能を持つ。規則からの逸脱が検出されると、即座に車両の駆動系にフィードバックが送られる。ソフトウェアは無線更新により常に最新の状態に保たれる。

<AI21648>

情報の少ない中東欧やロシア
CIS、トルコの経済動向を
お伝えしています



東欧経済ニュースを読んで
情報を集めよう





Vay (Vay Technology GmbH)

配車サービスを提供するドイツの新興企業。Vay のアプリから車両を発注すると、遠隔操作による無人車両が指定の場所に到着する。運転は、顧客自身が行い、目的地に到着後、「テレステーション」にいる Vay の遠隔操作ドライバーに無人車両を引き渡す仕組み。目的地に向かう途中でスーパーマーケットなどに立ち寄ることもできる。

当該サービスの利用により、車両を個人で保有したり、駐車場を探したりする手間が省けるほか、他の配車サービスに比べ利用料金を低く抑えることができるなどの利点がある。

Vay は 2018 年の創業で、ベルリンに本社を置く。1 月 17 日には、米ネバダ州のラスベガスでサービスを開始すると発表した。数週間の「初期アクセス段階 (Early Access Phase)」を経て、ネバダ大学ラスベガス校周辺や芸術地区 (アーツ・ディストリクト) でサービスを開始する。

利用料金は、運転時間 1 分あたり 0.30 ドルで、途中でどこかへ立ち寄る場合は、アプリで申請すると 1 分当たり 0.03 ドルが課金される。これにより、ドアツードアの他の配車サービスに比べ料金を最大 50%削減することができる。

米国の顧客は、Apple が運営する App Store (アップストア) で Vay のアプリをダウンロードすることができる。

Vay は、米国でのサービス開始と並行し、ドイツでも認可手続きを進めている。2021 年秋には、ドイツにおけるサービス開始に向けて、ハンブルク市とモビリティ・パートナーシップを締結した。

「テレステーション」にいる Vay の遠隔操作ドライバーは、カメラセンサーによる画像を画面で見ながら、ハンドル、ペダルなどを操作している。救急車などに対応できるよう、ヘッドフォンで現場の音声も聞こえるようになっている。

Vay のドライバーは、Vay の研修プログラム「Vay Teledrive Academy」を通して車両の遠隔操作の訓練を受けている。



出所: Vay

欧州自動車短信

■ 独自動車部品メーカーの**エーベルスパツヒャー**は、ブルガリアのルセに建設した新工場(従業員数:約 100 人)をオーストリアのケーブルメーカー、GG グループに売却したもようだ。エーベルスパツヒャーの広報担当者が 12 日、独経済誌『ヴィルトツシャフツヴョッヘ』の報道を追認した。売却の理由については、欧州で計画されていた電動車市場の成長が遅れており、顧客が必要とする高電圧暖房システムおよび関連制御ユニットを既存の拠点から供給できるため、と説明している。売却価格については明らかにしていない。売却した新工場では、2024 年初めに自動車用の電気ヒーターの生産を開始する予定だった。

■ 独レンタカー大手の**シクスト**は 16 日、欧州自動車大手のステランティスから 2026 年までの 3 年間に最大 25 万台を調達すると発表した。調達した車両は、欧州および北米のレンタカー事業に投入する予定。取引規模は総額で数十億ユーロになる見通し。最初の大規模な納車は 2024 年第 1 四半期に予定している。シティーカーや SUV、7 ～ 9 シートのバンなど、ステランティス傘下ブランドの様々なモデルが対象となっており、純電気自動車(BEV)も含まれている。両社は今後さらに、ステランティスが提供する DaaS(サービスとしてのデータ)も含め、世界の様々な地域で協力の可能性を検討していく方針を示している。

■ 独自動車部品大手の**ZF フリードリヒスハーフェン**は、ドイツの現在の従業員、約 5 万 5,000 人のうち、約 1 万 2,000 人を 2030 年までに削減する意向のもようだ。同社の事業所委員会(労働者の代表機関)のアッヒム・ディートリヒ委員長が 17 日、明らかにした。うち、1 万人の削減は、2028 年までに実施される可能性があるという。なお、経営側は、社会的責任(社会計画)に基づいた手段により人員を削減する方針であり、退職者が出た後に新たな人員を採用しない、または、国外で人員を増員するなどの方法をとる見通し。国外移転の規模については分からない、とコメントしている。

<AI21649>

ヨーロッパで

ビジネスパートナーを探したい…



>>> FBCにお任せください！

私たちはロングリスト・ショートリスト調査を通して
みなさまの欧州戦略を強力にサポートしています
欧州に攻め込むための最新の営業リストを作成します

一般・その他

EU のミシェル大統領が任期途中で辞任、欧州議会選に出馬へ

欧州連合（EU）のミシェル大統領（欧州理事会常任議長）が任期途中で辞任し、6月の欧州議会選挙に出馬する意向を表明したことが、大きな波紋を広げている。後任人事が難航すると、EUとそりが合わないハンガリーのオルバン首相がEU首脳会議を取り仕切ることになるためだ。

EU大統領はEUの最高意思決定機関である首脳会議の常任議長。欧州委員会の委員長と並ぶEUの要職で、加盟国の協議が紛糾した場合に議長国とともに調整役を務め、打開の糸口を探る重責を担う。外交面でも欧州委員長とともにEUの顔となる。

ミシェル氏はベルギー首相を務めていた2019年に第3代のEU大統領に就任。任期は24年11月までだが、7日に欧州議会選出馬を表明した。EU大統領と欧州議会議員は兼任できないため、当選後に大統領を辞任する。欧州議会選は6月6～9日に行われ、当選者は7月16日に議員に正式就任する。

ミシェル氏は大統領辞任、議会選出馬について「これまでの私のEUのリーダーとしての業績を（欧州議会で）説明し、欧州の将来のためになるプロジェクトを提案する責任がある」と説明しているが、要職を突然投げ出す理由としては弱い。域内の政界では、大統領の任期が残りわずかとなる中、自身の政治キャリアを優先し、任期5年の欧州議員に鞍替えするとして、無責任と批判する声が出ている。

EUは欧州議会選直後の首脳会議で新大統領を指名する必要があるが、スムーズに決まるかどうか不透明。大統領職が空席となれば、その間は7月からEU議長国となるハンガリーのオルバン首相が首脳会議を取り仕切る。オルバン首相はロシア寄りで、対ウクライナ支援、民主主義尊重などでEUと対立しているだけに、EUにとっては絶対に避けたい事態だ。

これまでのEU大統領は、加盟国の首相を務めた人物が指名されてきた。後任をめぐっては、欧州の主要メディアでイタリアのドラギ前首相（欧州中央銀行の前総裁）、スペインのサンチェス首相、デンマークのフレデリクセン首相らの名前が取り沙汰されている。

<AI21650>

FBCのロングリスト調査は



- ① 貴社の案件に合う対象企業をヨーロッパ全土から探します
- ② 全ての企業に貴社のプレゼン資料を送付
- ③ その後メール・電話で興味の有無を1件1件確認します

新たな**ビジネスパートナー**を探します

マイクロソフトとオープン AI の提携、欧州委が調査

欧州委員会は9日、米マイクロソフトと対話型 AI「ChatGPT（チャット GPT）」を運営する米新興企業オープン AI の提携に関して、EU 競争法の合併規制の対象となるかどうか調査していると発表した。

マイクロソフトは昨年、オープン AI に 130 億米ドルを投資し、資本・業務提携する意向を表明していた。

EU では域内企業同士の合併・買収も、関連企業の EU 内での売上高が一定規模を超えると欧州委の審査対象となる。欧州委は今回の件について、「マイクロソフトによるオープン AI への投資が合併規則に基づく審査対象となるかどうかをチェックする」としている。

審査対象となった場合は、欧州委が同分野の健全な競争を維持する観点で調査を開始する。競争上の問題があると判断すれば、提携の差し止め、是正を命じる可能性がある。

同提携をめぐるのは、米国、英国の当局が同様の調査を開始している。

<AI21651>

EU によるグーグルへの巨額制裁、EU 司法裁の法務官が支持

欧州連合 (EU) の最高裁判所に当たる EU 司法裁判所の法務官は 11 日、米グーグルが買い物検索をめぐり欧州委員会から競争法違反で巨額の制裁を科されたことを不服として提訴している問題で、EU の決定を支持する見解を示した。法務官の見解は拘束力を持たないが、司法裁はこれに沿った判決を下すケースが大半で、グーグルの敗訴が濃厚となった。

欧州委は 2017 年、グーグルがインターネット検索市場での支配的地位を乱用し、買い物検索サービスで自社の商品比較サイトを優先的に表示し、公正な競争を妨げたと判断して、24 億 2,000 万ユーロの制裁金支払いを命じた。競争法違反での制裁としては、当時の過去最大規模だった。

グーグルは同措置を不服とし、下級審の一般裁判所に提訴したが棄却され、EU 司法裁に上訴していたが、法務官は原判決を踏襲し、欧州委の決定は妥当との判断を示した。

<AI21652>

FBCのショートリスト調査は



- ① ロングリスト調査の結果、興味・関心を示した企業の担当者を割り出します
- ② 当該企業の主な取引先や競合他社などのデータも入手します
- ③ ショートリストとして提出します

このデータをもとに**即営業を開始**できます



テクノロジー・トレンド

技術大国ドイツを中心に
注目の技術情報を集めています。

独コンチネンタル、顔認証ディスプレイを出展＝米 CES

独自動車部品大手のコンチネンタルは、米ラスベガスで開催されたテクノロジー見本市「CES 2024」（1月9～12日）に、ドライバー用ディスプレイの後ろとBピラー（横から見て前部座席と後部座席の間にある柱）の外装に特殊なカメラシステムを内蔵し、顔認証により登録された人物を認識できる技術を出展した。当該システムにより、ドアを開錠したり、車両を発進したりできるほか、デジタル決済機能も使用することができる。

この顔認証システムには、独化学大手 BASF の子会社トリナミックス (trinamiX) の生体認証技術を活用している。ドライバー用の有機 EL (OLED) ディスプレイの後ろにカメラが内蔵されており、ドライバーからは見えないため、カメラが内装デザインを妨げる問題はない。B ピラーのカメラ統合型ディスプレイは、顔認証だけでなく、電動車の車載電池の充電量などを表示することもできる。

トリナミックスの生体認証技術は、本物の肌であるかどうか識別することができるため、人工知能 (AI) を活用して作成した人物画像や人工のマスクなどを使って不正にドアを開錠することはできない仕組みとなっている。



出所：Continental

<AI21653>

必要な情報を収集します

30年間で培った「600件以上の調査実績」

各種調査はFBCにお任せください



ベバストと LG ディ스플레이、スクリーン統合型ルーフシステムを出展 = 米 CES

自動車用ルーフシステムなどを生産する独ベバストは、米ラスベガスで開催されたテクノロジー見本市「CES 2024」（1月9～12日）に、韓国の LG ディ스플레이と共同で透明スクリーンを統合したハイテクルーフシステムを出展した。ボタン操作でスクリーンをルーフから下に下げて、映画などを鑑賞することができる。

具体的には、LG ディ스플레이の 30 インチの透明な有機 EL (OLED) スクリーンをルーフシステムに統合している。ベバストは、スクリーンの横側の 2 つ関節レールを使って回転運動によりスクリーンを下に下げる技術を提供した。当該システムは、ブラシレスモーターを内蔵しており、スクリーンの位置や角度を細かく調整することができる。

スクリーンは、スイッチがオフの状態では透明で、パノマルーフからの空の眺めや光を遮ることはない。日差しの強い日は、ボタン操作で日よけに変更することができる。また、夜間などには、幾何学模様や星空などを様々なカラーで表示することもできる。



<AI21654>

出所：Webasto

欧州フォード、オリーブの木の廃棄物を活用した自動車部品を開発

米自動車大手フォードはこのほど、ドイツのケルンにある欧州本部のエンジニアが、オリーブ畑で収穫時に発生するグリーン廃棄物を活用した自動車部品を開発したと発表した。パイロットプロジェクトとして、フットレストとトランクルームの内装部品のプロトタイプを製造したところ、耐久性や強度などで好結果を得られたため、今後に向けて、例えば、次世代の電気自動車などで量産化する可能性を検討している。

この取り組みは、プロジェクト「COMPOLive」の一環として実施した。欧州本部のエンジニアは、第一段階として、最新のシミュレーション技術を活用して、オリーブの木から得られる材料が必要な耐久性や強度、成形性を持つかを調査した。

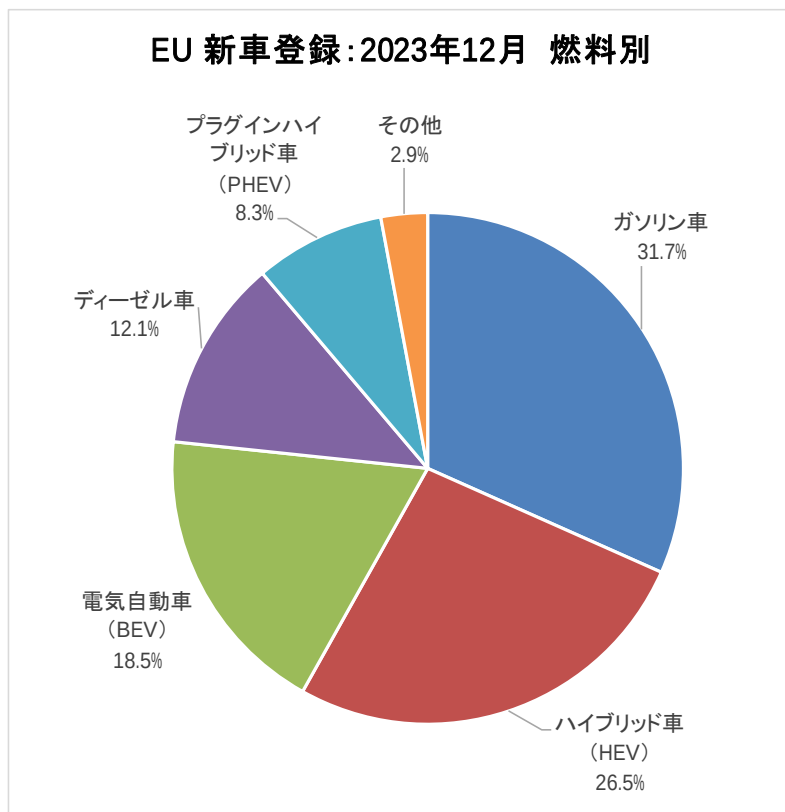
その後、スペイン南部のアンダルシアにあるオリーブ畑で収穫時に発生する廃棄物を活用し、プロトタイプを作成した。当初は、バイオ繊維とリサイクルされたポリプロピレン樹脂の割合が 4 対 6 の複合材料を使用して射出成形した。その後、様々な混合比率を試した結果、強度、耐久性、柔軟性において妥協点のない複合材料を完成させることができた。

オリーブ畑で収穫時に発生するグリーン廃棄物は、食用作物と競合しない利点がある。

<AI21655>

目で見える欧州自動車産業ニュース

EU 新車登録: 2023 年 燃料別



出所: 各国自工会; ACEA



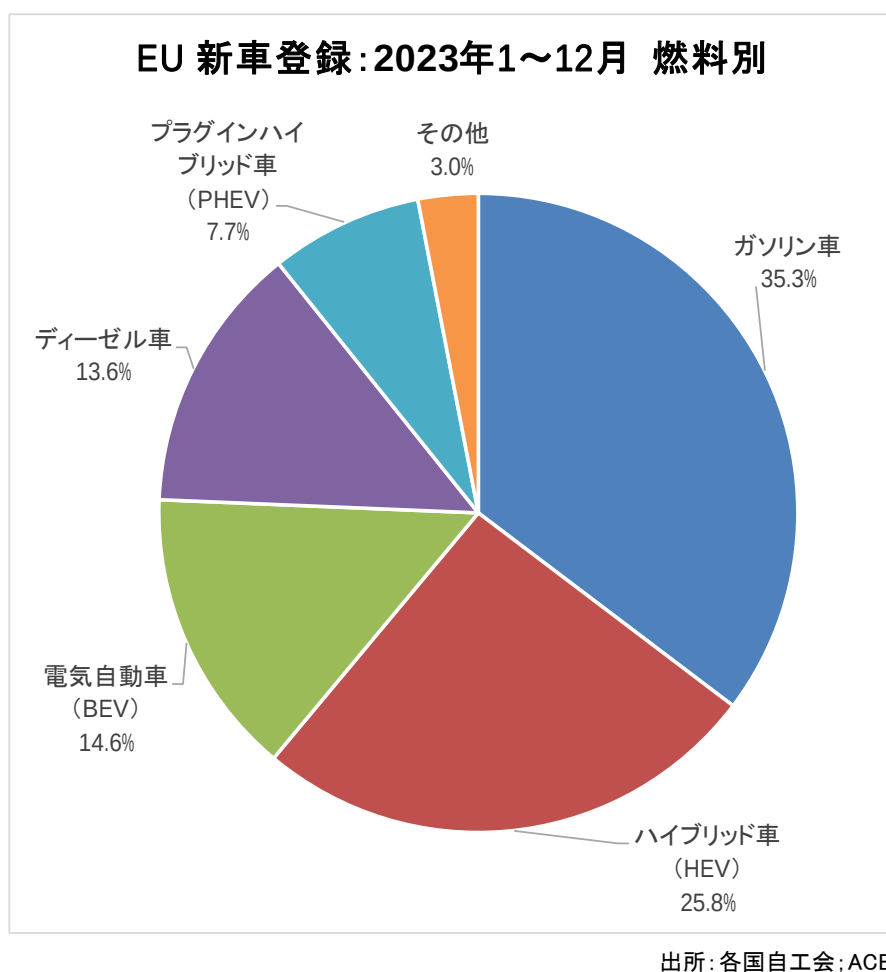
欧州自動車工業会(ACEA)によると、欧州連合(EU)の燃料別の新車販売は、純電気自動車(BEV)が12月に前年同月比16.9%減の16万700台となり、2020年4月以来の減少となった。大幅な減少は、ドイツ(47.6%減)で販売が急減したことに加え、2022年12月のBEVの販売が比較的堅調であった影響がある。2023年通期のBEVの販売は、前年比37.0%増の153万8,621台となり、市場シェアを14.6%に拡大した(2022年通期: 12.1%)。BEVは、2023年通期の燃料別の登録台数で、ガソリン車、ハイブリッド車(HEV)に次いで3番目に多かった。

ハイブリッド車(HEV)は、12月が前年同月比26.0%増、2023年通期も前年比29.5%増の271万6,963台と好調で、市場シェアで25.8%を確保した(2022年通期: 22.7%)。

プラグインハイブリッド車(PHEV)は、12月はドイツの大幅な減少(74.4%減)が響き、前年同月比40.2%減となった。2023年通期も前年比7.0%減の81万3,480台と振るわず、市場シェアは7.7%(2022年通期: 9.4%)に縮小した。

ガソリン車は、12月が前年同月比5.1%増、2023年通期も前年比10.6%増の372万4,646台に伸びたものの、市場シェアは35.3%(2022年通期: 36.4%)と僅かに縮小している。

ディーゼル車は、12月が前年同月比9.1%減、2023年通期も前年比5.8%減の143万3,368台と低迷し、市場シェアは13.6%(2022年通期: 16.4%)に縮小した。



<AI21656>

■企業名索引

今週号のニュースで取り上げられた主な企業を対象としています。

Index

企業名	掲載頁		
Bosch	8	Sixt	12
Continental.....	15	Stellantis	12
E.ON	8	Tata steel.....	10
Eberspacher.....	12	Valeo	9
Ford Motor.....	16	Vay	11
Hella.....	10	Webasto	16
Here.....	9	ZF Friedrichshafen	12
Northvolt.....	4		
Seat	7		